

**令和6年度
教育行政の執行状況に関する
点検評価報告書
(令和5年度対象)**

蓮田市教育委員会

目 次

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 学識経験者の知見の活用	1
4 達成度及び教育委員会評価の判断基準	1
5 蓮田市教育大綱	2
6 蓮田市教育行政重点施策	6
7 点検評価の結果	7
○地域の関係機関と連携した子育て支援	7
○教育内容の充実	8
○教育環境の充実	13
○学校の教育力の向上	15
○交通安全対策の充実	18
○生涯学習体制の充実・学習環境の充実	20
○芸術・文化活動の振興	22
○歴史・文化の保全と活用	24
○スポーツ・レクリエーション活動の促進、 スポーツ施設整備の促進	26
○人権意識の高揚	28
○放射線対策の推進	30
8 点検評価報告書に対する外部意見	32
9 資 料	37

参 考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められています。本報告書は、同法の規定に基づき、蓮田市教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

(1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、蓮田市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしています。

本点検評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 点検評価の対象及び方法

教育行政の基本政策は、市政運営の基本となる計画である「蓮田市第5次総合振興計画」（計画期間：平成30年度～令和9年度）に位置付けられています。

点検評価の対象は、総合振興計画に位置付けられた教育委員会所管の基本政策のうち、令和5年度に実施した主要な事業とし、その取組と成果について、教育委員会が点検評価を実施しました。

なお、各政策において、令和5年度に重点的に取り組んだ事業及び新規に取り組んだ事業について、それぞれ次のとおり示します。

重点的に取り組んだ事業 … **重点**

新規に取り組んだ事業 … **新規**

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するため、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用しました。

学識経験者：群馬大学教授 霜田浩信氏

4 達成度及び教育委員会評価の判断基準

○達成度の判断基準

- A…事業成果が十分である
- B…事業成果が相当程度である
- C…事業成果がやや不十分である
- D…事業成果が不十分である

○教育委員会評価の判断基準

- A…目標の達成が十分である
- B…目標の達成が相当程度である
- C…目標の達成がやや不十分である
- D…目標の達成が不十分である

第5次総合振興計画 《蓮田市の将来像》

四季かおる つながり 安心 ^い 活きるまち

蓮田市では、子どもたちを含め市民誰もが、明るくいきいきと健やかに生活できるまちづくりを目指しています。子どもたちがのびのびと育つ教育環境を整備するとともに、すべての人々が主体的に自己の人格を磨き、生涯にわたって学ぶ喜びを享受でき、健康で心豊かに生きることのできる能力や態度を育成します。

※各基本方針に関連するSDGs（持続可能な開発目標）を掲げます。

基 本 理 念

- 1 未来の希望が輝くまちをつくる
- 2 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる

1 未来の希望が輝くまちをつくる

国際化や情報化の進展など変化の激しい現代社会の中では、一人ひとりが社会的に自立し、持てる能力を発揮することが求められています。蓮田市では、出産、子育て、教育に至るまで一体となった取り組みを行うとともに、未来を託す人づくりのため、学習内容の基礎・基本の定着を図り、「主体的・対話的で深い学び」アクティブ・ラーニングの充実と、個性を伸ばし「生きる力」の確実な育成を目指し、知・徳・体のバランスのとれた子どもを育成します。

＜基本方針＞

(1) 学校教育の充実



将来を展望し、社会の変化や児童・生徒の変化に対応し、生きる力を育む教育の実現を目指します。

- ① 教育内容の深化充実と人材の育成
- ② 安心・安全な教育環境の整備
- ③ 開かれた学校づくり
- ④ 学校の教育力の向上



(2) 子育て支援の充実



未婚者の出会いの機会創出を促進するとともに、それぞれが望む人数の子どもを得ることができ、安心して子どもを産み育てられるようにするため、子育てに関するさまざまな不安や負担を減らす切れ目のない支援を行い、地域全体で子育て家庭を支援するための環境づくりを行います。

- ① 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ② 地域の関係機関と連携した子育て支援
- ③ 安心・安全な保育環境と幼児教育の充実
- ④ 健全育成のための環境づくりと権利の保障



2 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる

市民一人ひとりがさまざまな学習の場を通して、文化的教養を高められるよう、また、学習によって得た知識や技術といった成果が地域社会に反映できるよう、生涯学習を総合的に推進するとともに、人と人との関係を大切にしていくなちづくりを目指します。

＜基本方針＞

（１）生涯学習を通した生きる力の育成



多様化する市民の学習ニーズに対応し、市民一人ひとりの心豊かな充実した生活を実現するため、市民の自発的学習活動への援助と社会教育施設の整備を進めます。また、異文化に対する理解を育み、共感・共存できる環境を整えるなど、国際交流・多文化共生を踏まえた生涯学習の普及・啓発を図ります。

- ① 生涯学習体制の充実
- ② 生涯学習環境の充実・情報提供
- ③ 多様化する学習ニーズへの支援
- ④ 青少年育成団体等の活動の促進



（２）地域に根ざした文化の継承と活用



自発的な芸術・文化活動を支援するとともに、人材の発掘・育成・活用を図ります。また、市内に残る文化財などの地域資源の保全、今に受け継がれる郷土の歴史・伝統・文化の保存継承とその活用を図り、市内外の関心を高めていくとともに、郷土愛を育みます。

- ① 総合文化会館における芸術・文化活動の支援
- ② 市民組織等の人材育成・支援
- ③ 歴史・文化の保存と継承
- ④ 歴史・文化の啓発と活用



(3) スポーツ・レクリエーションの振興



市民があらゆる機会を通じて、スポーツ・レクリエーション活動に参加できるように、生涯スポーツを目指したスポーツ環境の整備を推進します。

- ① スポーツ団体等の育成・支援
- ② スポーツ関係機関等との連携事業の充実
- ③ スポーツ施設整備の推進
- ④ 総合市民体育館の大規模改修及びサブアリーナ増築事業の推進



(4) 人権意識の高揚



人権尊重社会を実現するために、あらゆる機会をとらえて人権に関する教育及び啓発を推進していきます。また、男性と女性が互いに人権を尊重し、責任を分かち合いつつ個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するための環境づくりを推進します。

- ① 人権教育・啓発活動の推進
- ② 男女共同参画への意識づくり
- ③ 関係機関等との連携
- ④ 相談体制の充実



令和5年度蓮田市教育行政重点施策

まちづくりの基本理念

- 1 潤いのある自然・文化のかおるまち
- 2 人々がふれあう連携・協働によるまち
- 3 安心・安全に生活できるまち
- 4 地域の活力を高めるまち

(蓮田市第5次総合振興計画)

四季かおる つながり 安心 活きるまち

(蓮田市・はすびい)

1 未来の希望が輝くまちをつくる

2 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる

教育基本法
児童福祉法
社会教育法
スポーツ基本法
第3期埼玉県
教育振興基本計画



黒浜式土器

(1)生涯学習を通じた生きる力の育成

- ① 生涯学習体制の充実
 - ・幅広い世代に向けた学びの機会提供
- ② 生涯学習環境の充実
 - ・社会教育施設の整備やサービスの充実
- ③ 多様化する学習ニーズへの支援
 - ・レファレンスサービスの充実
- ④ 青少年育成団体等の活動の促進
 - ・各種団体への活動支援と連携・協調

(3)スポーツ・レクリエーションの振興

- ① スポーツ団体等の育成・支援
 - ・地域活動団体やスポーツ推進委員等の人材育成
- ② スポーツ関係団体等との連携事業の充実
 - ・スポーツ・レクリエーション活動の機会の創出
- ③ スポーツ施設整備の推進
 - ・総合市民体育館の大規模改修とサブアリーナ増築事業の推進



史跡黒浜貝塚

(2)地域に根ざした文化の継承と活用

- ① 総合文化会館における芸術活動、文化活動の振興
 - ・様々な文化・芸術活動の支援
- ② 市民組織等の人材育成・支援
 - ・文化団体への活動支援と市民組織の人材育成
- ③ 歴史・文化の保存と継承
 - ・埋蔵文化財の記録保存と資料活用
- ④ 歴史・文化の啓発と活用
 - ・史跡黒浜貝塚の整備推進と教育普及

(4)人権意識の高揚

- ① 人権教育・啓発活動の推進
 - ・人権研修会や講演会の充実
- ② 男女共同参画への意識づくり
 - ・研修会や講演会の充実
- ③ 関係機関等との連携
 - ・関係団体や関係機関との連携
- ④ 相談体制の充実
 - ・情報提供や相談体制の充実



認知症サポーター養成講座



タブレット端末を活用した授業

(2)子育て支援の充実

- ① 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
 - ・子育て世代包括支援センターの充実
- ② 地域の関係機関と連携した子育て支援
 - ・世代を超えた交流の機会の提供
- ③ 安心・安全な保育環境と幼児教育の充実
 - ・子どもを犯罪から守る環境づくり
- ④ 健全育成のための環境づくりと権利の保障
 - ・関係機関との連携と地域での見守り体制の充実

蓮田市教育委員会

政策名	地域の関係機関と連携した子育て支援
第5次総合振興計画における政策の位置付け	I 未来の希望が輝くまちをつくる
	3 地域や家庭における子育て支援
	(3) 地域の関係機関と連携した子育て支援
政策の概要	子育て中の保護者に対して、子育てや家庭・学校教育に関する学習機会の提供を行い、家庭の教育力の向上に向けた支援を行う。

主 要 事 業 名	決 算 額	担 当 課
1 家庭教育支援事業	4,143 千円	子ども支援課

令和5年度の取組と成果	達成度	4年度	5年度
		A	A
1 家庭教育支援事業			
親の子育て中の悩みや不安を払拭し、自信を持って子育てができるよう、家庭の教育力の向上に向けた様々な支援に取り組んでいます。 幼児家庭向けに「WA になってあそぼう」、主に小学校1年生を持つ家庭向けに「委託家庭教育学級」、小学校2年生から中学生を持つ家庭向けに「自主家庭教育学級」を開催するとともに、2月には子育て講演会「子育て世代の片づけ講座」を開催しました。 また、家庭教育学級の成果をPRする活動展や、「学校を休みがちな子をもつ親のつどい」を引き続き開催したほか、新規事業として、子どもの居場所「ほっとスペースりあん」を開設し、時代に即した家庭教育の支援をしました。 各事業の成果については、参加した方々から、同級生の子どもや同じ悩みを持つ親と知り合うことができ子育ての不安や孤独の軽減につながった、市の担当者となつながら市の事業に参加しやすくなったといった評価をいただいております、一定の効果があったと感じています。			

課 題 と 今 後 の 方 針
共働き世帯の増加や家庭環境が複雑化する中、家庭での教育を推進するより、子育てに寄り添ってほしいといった声が子育て世帯の当事者から寄せられています。このことから、福祉的な観点から幅広い子育て支援を行う「子育てコンシェルジュ事業」の中に当該事業を組み入れるとともに、人員体制的にも、社会教育指導員と子育てコンシェルジュを統合し、これまで以上に一人一人に寄り添った子育て支援を展開していきます。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）	達成度	4 年 度	5 年 度
		A	A
子育てをする保護者に対する温かい支援・取組が定着し、家庭教育支援がより一層充実していると感じます。様々な事業を通じ、保護者の方と市の担当を繋がりやすくなるだけでなく、保護者同士が交流し、お互いの不安や悩みを話し合うことができる場が増えています。引き続きあらゆる方向から、保護者のＳＯＳを見出して繋がりを増やす取組を進めていただくよう望みます。			

政策名	教育内容の充実
第5次総合振興計画における政策の位置付け	I 未来の希望が輝くまちをつくる
	4 学校教育の充実
	(1) 教育内容の充実
政策の概要	地域や学校、児童・生徒の実態に応じた教育課題を明確にし、主体的に学ぶことができる教育内容の充実を図る。

主要事業名		決算額	担当課
1	一人ひとりを大切にしたい教育の充実推進事業	2,532 千円	学校教育課
2	小・中学校人権教育推進事業	680 千円	
3	特別支援教育推進事業	208 千円	
4	外国語指導助手招致事業	27,120 千円	
5	小学校外国語活動推進事業	1,017 千円	
6	中学生国際親善訪問団事業	0 千円	
7	学力向上推進事業	2,532 千円	
8	市費による非常勤講師等配置事業	49,083 千円	教育総務課
9	新学習指導要領への対応	39,349 千円	学校教育課

令和5年度の取組と成果	達成度	4年度	5年度
		A	A

1 一人ひとりを大切にしたい教育の充実推進事業

教育委員会では、毎年学校教育における諸課題を学校に研究委嘱しており、令和5年度は、前年度に研究委嘱した2校、今年度に研究委嘱した1校の計3校が研究授業、研究発表を行いました。

平野小学校においては、研究課題「生き生きと輝き、伸びゆく児童の育成を目指したキャリア教育の推進」を掲げ、研究授業、研究発表を行いました。

黒浜西中学校においては、研究課題「未来を見つめ、自己実現を図る力を育成するキャリア教育の推進～「非認知能力」の向上を目指して～」を掲げ、研究授業、研究発表を行いました。

黒浜西小学校は、体力向上において研究課題「どの子も楽しく「わかる」「できる」と実感できる指導の工夫～運動の楽しさを味わい、仲間や各教科、未来とつながりながら、自ら学び続ける児童の育成～」を掲げ、研究授業、研究発表を行いました。

このほか、蓮田中央小学校・蓮田中学校の小学校1校、中学校1校に研究委嘱を行いました。

蓮田市・松川町小学生交流事業では、7月27日・28日に松川町に市内小学校代表児童24名が松川町に訪問し、現地の小学生と交流しました。

また、「蓮田市の未来を語る子ども議会」を8月1日に開催しました。

2 小・中学校人権教育推進事業

人権教育全体計画を市内全小・中学校において作成し、教育活動全体を通じて人権教育推進に取り組みました。児童・生徒の正しい人権感覚を育成するために、人権作文や標語の作成・人権の花の栽培、人権教育映画の鑑賞や人権教育講演会の開催等を実施しました。

8月には、人権教育研修会を市内教頭、主幹教諭及び教務主任を対象に実施し、蓮田市教職員人権教育研修会では全教職員を対象に実施しました。教職員の人権感覚を高めるために、県からの通知やリーフレット等を適宜配布しました。

3 特別支援教育推進事業

蓮田市就学支援事業として、蓮田市就学支援委員会委員に各小・中学校の校長、教員、校医、学識経験者、関係課職員、計 63 名を委嘱しました。就学支援専門委員会・就学相談会を含め年間 5 回の会議を開催し、一人ひとりの力を伸ばすためのより良い就学先について協議を行い、保護者に提案しました。保護者とも相談を重ね、就学支援を必要とする幼児・児童・生徒への教育的支援を継続的に行い、適正な就学先が決まりました。

また、蓮田市巡回相談については、蓮田市巡回相談サポートチームを学識経験者、特別支援学校特別支援教育コーディネーター及び市教職員等 5～6 名で編成し、各小学校に 2 回ずつ、各中学校に 1 回ずつ訪問しました。巡回相談は就学後の児童・生徒の様子を継続的に見ることができ、この事業の結果、通常の学級に在籍しながらも特別な支援を必要とする児童・生徒への指導法について指導助言を行い、日々の指導に生かすことができました。さらに、特別支援学級担当者会議を開催し、市内の特別支援学級における共通理解を図り、研修を深めることができました。

そのほかに、特別支援学級の交流・支援を目的とした市内小中学校特別支援学級交流事業として予定していた、市内中学校特別支援学級合同宿泊学習は中止となりました。夏・冬の合同学習会、市内小学校特別支援学級合同遠足、市内中学校特別支援学級合同遠足は実施となりました。

4 外国語指導助手招致事業 **重点**

外国語指導助手（JET プログラムによる ALT）を 6 名招致しており、各中学校に 1 名ずつ配置し、小学校に 1 名配置しています。ALT が授業へ参加することにより、英語で意思を伝え合うことの難しさを感じたり、通じた時の喜びを感じたりして、英語を身近なものと感じさせるとともに、英語教育の充実及び、生徒のコミュニケーション能力を高める授業を推進することができています。

本市は小学校での外国語教育にも ALT を活用しており、ALT を各中学校区の小学校に、週 1～2 日派遣し、外国語サポーターや各小学校教員と協力して、小学校外国語教育の充実を図っています。子どもたちの英語への興味関心を高める取組となっています。

定期的に行っている ALT ミーティングでは、市内各校での英語の授業についての情報交換を行い、授業に関するアイデアなどを共有しています。

本事業を通して、市内の小学校及び中学校において、国際理解教育・英語教育の推進を図ることができました。ALT と触れ合う機会が増えることで、コミュニケーション能力の素地づくりに着実に効果を上げています。また、児童の英語への興味関心を高め、中学校英語学習への円滑な接続を図るとともに、異文化理解や英語学習の基本的な知識習得もできています。

5 小学校外国語活動推進事業 **重点**

小学校において、ALT や小学校外国語活動サポーターを効果的に活用し、外国語活動及び外国語科の授業を実施しました。ALT が授業に参加し、児童が英語に身近に触れることで英語に対する関心が高まっています。小学校外国語科においては「書くこと」の活動も取り入れ、中学校における英語教育への円滑な接続を図っています。なお、実践的な演習を中心に研修を深め、英語指導力の向上を図るために、中学校英語科教員、小学校外国語活動担当教員、小学校教員、小学校外国語活動サポーターを対象に、英語教育に関する研修会を夏季休業中に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため指導力向上に資する資料を配布するのみとなりました。

また、本市と交流があるオーストラリア・マジュラバ州立小学校とアランデル州立小学校からのホームステイ受入れは、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響があり、拡大防止のため中止となりました。なお、今後の交流については、今までと異なる交流方法も含め、検討しています。

6 中学生国際親善訪問団事業

国際的視野や国際感覚を持った「人財」の育成、外国の歴史・文化の理解、蓮田市の次代を担うリーダーの育成等を目的として国際親善訪問団事業を実施しています。例年、市内の中学生を対象に7月下旬から8月上旬にかけてオーストラリア・クイーンズランド州ゴールドコースト市へ派遣しておりますが、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響があり、訪問団の安全確保が最優先であることを考え、数年来、派遣は中止しております。

例年であれば、現地の小学校で3日間の授業体験や茶道、折り紙等の日本文化の紹介及び5泊のホームステイ等の経験をしています。また、訪問の事前研修会では日本文化や外国の生活習慣について理解を深め、帰国後は体験報告会を開催して本市の国際理解・国際交流の一端を担っています。

なお、今後の交流については、今までと異なる交流方法を含め、検討しています。



(※2019年の訪問の写真)

7 学力向上推進事業 **重点**

個に応じたきめ細かな指導の充実を図るため、小学校低学年への非常勤講師の配置、30人学級や少人数指導を実施し、各学校や児童・生徒の実態に応じて、学力向上の推進に向けて取り組みました。

児童・生徒の自ら学ぶ意欲、関心の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」としてアクティブ・ラーニングの充実と、ねらいのわかる授業を実践しました。また、各学校の実態に合わせた取組として、習熟度別学習、少人数指導、ティーム・ティーチングといった、個々の課題に応じた補充学習のほか、1人1台タブレットPCを活用した課題学習、家庭学習における家庭との連携等を、教育課程に位置づけました。

令和5年度の埼玉県学力・学習状況調査における結果は、全学年、全教科の全領域で県の平均正答率を上回りました。特に、算数・数学の伸びが大きいという結果が見られました。算数・数学学力向上推進委員会と国語学力向上推進委員会の取組を継続的に進めています。

8 市費による非常勤講師等配置事業

小学校低学年を対象とする少人数指導の一環として、小学校30人学級非常勤講師を、児童数に基づき対象となった2校に配置しました。これは「市町村立学校職員給与負担法」の基準では措置されない講師等を市費により配置し、学習指導の充実ときめ細かな生活指導を図るものです。

また、各学校からの要望と実態に即して、以下の市費教職員を配置しました。

通常学級における生活安全面の配慮と学級生活の補助を目的として、生活支援員を全小学校に計11名配置しました。

特別支援学級での指導補助を行う特別支援学級介助員を、小学校6校及び中学校2校に計15名配置しました。

中学校においては、各校が必要とする教科の教員免許状を有した、中学校教科指導補助講師を全校に1名ずつ配置し、生徒それぞれに応じた教科指導補助を行いました。

9 新学習指導要領への対応

新学習指導要領の全面実施に伴い増加する授業時数の確保と、教育活動のさらなる充実を図るため、市内校長2名、教頭2名、委員9名、事務局職員2名から成る「教育課程検討委員会」を組織し、協議しました。学校行事や教科時数などについて情報共有し、1人1台端末の活用方法について協議しました。また、令和3年度から負担軽減検討委員会を兼ねることとし、各学校の負担軽減検討策について情報共有しました。

課 題 と 今 後 の 方 針

思考力を向上させる授業の充実が課題であり、一人でじっくり考える時間とみんなで話し合っ
て作り上げる時間、自分の言葉で授業のまとめをする時間を位置づけるなどの方策が今後とも必
要になります。今後も各学校への指導を継続し、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラ
ーニング）を実現する授業を展開し、一人ひとりを大切にした教育の充実を図ります。

蓮田市の「未来を語る子ども議会」については児童・生徒の参加意識が高まっており、事業の
発展と一層の充実を図り、進めていきたいと考えています。

蓮田市・松川町小学生交流事業についても、参加する児童の、蓮田市の代表であるという意識
が年々高まると同時に、互いの市町の良さを認め合う場となっています。令和7年度は、蓮田市
の児童が、松川町に赴き、該当学年の代表児童を対象に交流予定です。コロナ収束後も継続的な
事業の推進を行い、松川町との連絡を密にして一層充実した取組を図ります。

人権教育では、同和教育について学校現場でどのように指導していくか研究を深める必要があ
ります。管理職や教職員を対象とする研修会の更なる推進により、人権に対する意識の高揚を継
続して進めます。また、今後も、「同和問題」「障がい者」「外国人」「女性」「高齢者」「児童虐待」
「ヤングケアラー」「性の多様性」等について、計画的に研修会を実施し、各学校において人権教
育がさらに推進され、児童・生徒の人権に対する意識を高め続けるよう努めてまいります。

特別支援教育推進事業では、必要に応じて特別支援学級の障害種に応じた学級編制も視野に入
れ、個々に応じた適切な就学支援や特別支援の充実を図ります。具体的には、年々多様化する保
護者や児童・生徒のニーズと、多岐にわたる就学相談ケースに可能な限り対応できるようにする
ことが課題であり、特別支援教育の専門的な知識を有する教員の人材育成が必要です。このため、
研修会の充実による人材育成とともに、関係諸機関との情報交換連携の更なる充実を図ります。
また、蓮田市発達支援相談室「すてっぷ」と連携し、発達支援の充実をより一層図っています。

中学校国際親善訪問団事業は、本市の国際理解と国際交流の推進に大きな役割を示していると
考え、現段階では、今後も継続実施の予定ではありますが、近年の世界情勢により、現地へのホー
ムステイが非常に困難な状況であり見通しを持つことが困難であることから、これまでとは異なる
形での交流も検討していきます。

外国語指導助手招致事業では、A L T の増員及び小・中学校13校全校への常駐配置と、人材
の安定的な確保が課題となっています。

小学校外国語活動推進事業については、小学校外国語活動サポーターの増員・人材確保が課題
となっているため、その活動内容について広報等を用いて一層広く周知に努めます。また、小学
校教員の授業力の向上のため、小学校外国語活動サポーターとの連携を深めます。

学力向上については、市全体では概ね県平均を上回る良好な結果でしたが、それぞれの学校で
は教科の内容項目において課題が見られます。更なる学力の向上のため、各学校における学習課
題の適切な分析により、それぞれの学校の児童・生徒の実態に即した効果的な学習形態や指導方
法の工夫などに努めてまいります。

また、本市で以前から意識的に取り入れるよう指導してきた「主体的・対話的で深い学び」（ア
クティブ・ラーニング）を実践した授業と個別最適な学びの充実が課題であり、推進を図ります。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）	達成度	4 年 度	5 年 度
		A	A
学力の向上について、児童・生徒の自ら学ぶ意欲・関心の向上に向けたアクティブ・ラーニングが充実し、確実に成果が出ていると感じます。キャリア教育に関しても13校それぞれが特色のある取組を行っています。 特別支援教育推進事業では、幼少期からの継続的支援を行うことで、より一層、一人ひとりの個性に寄り添った適正な支援・指導を行っています。市職員と市内各学校が連携を密にし、多様なニーズに応えられるような体制が作られていると感じられます。 県学力・学習状況調査では、令和5年度についても県の平均正答率を上回る結果となったものの、それぞれの学校で教科の課題が見られることから、更なる学習向上のため、個々の実態に即した学習指導に期待します。 また、市費による非常勤講師等配置事業については、教育現場の人手不足を少しでも改善できるよう、状況に応じた人材の確保に努めていただき、教職員の負担軽減を図るよう期待します。			

政策名	教 育 環 境 の 充 実
第5次総合振興計画における政策の位置付け	I 未来の希望が輝くまちをつくる
	4 学校教育の充実
	(2) 教育環境の充実
政策の概要	学校・家庭・地域が一体となり、児童・生徒が過ごしやすく、保護者や地域の人々に信頼される教育環境の整備に努める。

主 要 事 業 名		決 算 額	担 当 課
1	小・中学校大規模改修事業 (黒浜小学校給食棟改築事業)	20,065 千円	教育総務課
2	小・中学校校庭整備事業	803 千円	教育総務課
3	G I G Aスクール構想	6,095 千円	学校教育課
4	就学援助費の支給事業	68,380 千円	学校教育課

令 和 5 年 度 の 取 組 と 成 果	達成度	4 年度	5 年度
		A	A

1 小・中学校大規模改修事業 **重点**

主な学校施設整備として、黒浜小学校給食棟改築工事（Ⅰ期工事）を実施しました。また、令和6年度に向けて蓮田南中学校校舎長寿命化改修工事の設計委託、平野中学校校舎トイレ改修工事の設計委託を実施しました。このほか、黒浜北小学校遊具更新工事、蓮田南小学校北校舎屋根防水改修工事、黒浜西中学校体育館放送設備更新工事など、学校や地域からの要望に対応しました。

また、軽微な修繕としては、83件、計13,941千円の修繕を実施し、児童・生徒が安全で快適な学校生活を送ることができるよう、きめ細かな施設環境整備に努めました。



黒浜小学校給食棟改築工事(Ⅰ期)

2 小・中学校校庭整備事業

子どもたちが身近な緑と触れ合える環境を整備するため、校庭の一部を芝生化している平野小学校と平野中学校について、芝生の維持管理業務委託を実施しました。

3 G I G Aスクール構想

国のG I G Aスクール構想の理念を踏まえ、1人1台端末環境の利活用によるアクティブ・ラーニングの充実をさらに推進してまいります。令和2年度内に市内小・中学校にタブレット端末を納品し、導入に向けて学習環境整備を図り、教員研修などを計画し実施しました。

今までの教育実践を継承しつつ、I C Tの効果的な活用の研究を推進し、1人1台端末環境を活かした主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。令和5年度は、各学校のI C T推進リーダーによるオンライン会議を年に5回実施し、Microsoft Teamsを使ったオンライン会議（代表の児童・生徒）や発表会等のライブ配信を行いました。今後も導入メーカーやソフトウェア企業等から講師を招聘して教員研修の実施・計画をし、情報教育担当者によるI C T活用推進リーダーの育成を目指します。

4 就学援助費の支給事業

就学援助費の適正支給を行うとともに、すべての児童・生徒の保護者に配付する「就学援助の案内」に認定の目安を同封し、就学援助制度が、就学援助を必要とするすべての家庭にいきわたるよう制度の充実に努めました。

課 題 と 今 後 の 方 針

蓮田市では、竣工から 40 年を迎える学校施設が増加しつつあるため、安心安全な教育環境を整える改修が必要となってきました。今後も引き続き、学校施設の老朽化対策に重点を置いて取り組みます。

国の G I G A スクール構想に基づき、1 人 1 台端末の本格運用が始まり、各学校での効果的な活用を進める必要があります。各学校の I C T 活用推進リーダーへの研修を開催する等、引き続き各学校での利活用の推進を支援していきます。また、各種の取扱規定等の策定が必要となります。近隣自治体と情報共有し、検討・実施を進めます。

就学援助費では、引き続き適正支給を行うとともに、学校事務との連携向上を図り、所管を子ども支援課から学校教育課へ移管します。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

達成度

4 年度

A

5 年度

B

子どもたちの学校生活がより充実したものになるよう、学校施設の長寿命化に対する整備工事やトイレの改修工事が早急に進められることを期待します。今後も、学校や地域からの要望等を踏まえ、計画性をもって学習環境の改善に努め、子どもたちの安心・安全に繋げていただくよう望みます。

G I G A スクール構想については、1 人 1 台端末のメリットを最大限活かせるよう、I C T 推進リーダーを中心として A I 技術の活用が図られるよう期待します。また、他市町の取組等も参考として、取扱規定等の改善を進め、より柔軟で効果的な利用の検討をお願いします。

政策名	学 校 の 教 育 力 の 向 上
第5次総合振興計画における政策の位置付け	I 未来の希望が輝くまちをつくる
	4 学校教育の充実
	(3) 学校の教育力の向上
政策の概要	教職員の育成に力を注ぎ、資質の向上、学校の教育力の充実を推進する。地域の施設や人材と学校との協力関係を深めるとともに、学校・家庭・地域社会等との積極的な連携を図り、学校の教育力の向上に努める。

主 要 事 業 名		決 算 額	担 当 課
1	開かれた学校づくり事業	667 千円	学校教育課
2	教職員の資質向上事業	2,532 千円	学校教育課
3	コミュニティ・スクール事業	62 千円	学校教育課

令 和 5 年 度 の 取 組 と 成 果	達成度	4 年度	5 年度
		A	A

1 開かれた学校づくり事業

各学校が新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、実施形態を工夫して公開可能なものを実施し、学校の教育活動への理解を深めていただく機会としました。

蓮田南小学校	①南小PTAバザー（中止） ③南っ子絵画展	②学校公開 ④南小まつり
蓮田北小学校	①スマイル給食（中止） ③蓮田北小縁日	②学校公開 ④音楽鑑賞会
平野小学校	①学校公開 ②各種校内展 ③平野地区子ども祭り（時期変更） ④音楽鑑賞会	
黒浜小学校	①黒浜ウォークラリー ②ふれあい授業参観	
蓮田中央小学校	①「逃走中」イベント ②学校公開 ③歌声集会 ④ユネスコスクール講演会	
黒浜西小学校	①学校公開 ②全校集会「プレイランド」 ③黒浜西小PTAバザー	
黒浜南小学校	①学校公開 ②特別支援学級ふれあい交流会 ③校内絵画展 ④みのりの秋集会	
黒浜北小学校	①授業参観 ②PTAイベント「逃走中」	



平野地区子ども祭り

- | | |
|--------|--|
| 蓮田中学校 | ①授業公開
②ふれあい講演会
③合唱コンクール |
| 平野中学校 | ①学校公開
②合唱コンクール
③クリーン作戦 |
| 黒浜中学校 | ①ふれあい講演会
②進路学習会
③合唱コンクール
④人権集会 |
| 蓮田南中学校 | ①授業公開
②校内合唱コンクール
③薬物乱用防止教室 |
| 黒浜西中学校 | ①学校公開
②合唱コンクール
③蓮田特別支援学校との交流会
④クリーン作戦（委員会で実施） |



黒浜西中学校 合唱コンクール

当年度も、保護者をはじめとする市民に学校の教育活動の理解をより一層深めていただくため、毎月定期的に学校だよりや学校ホームページ等で情報を発信しました。新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、様々な活動を再検討しての実施となりましたが、学校評議員と連携しつつ、保護者や地域住民等の意向を学校の教育活動へ反映することができました。また、学校応援団を組織し、学校の実態に応じて実施可能な活動を通して、児童・生徒の登下校の安全指導をはじめ、環境整備、学習支援等に協力いただくことができました。次年度への改善・検証の参考にするため、教職員の自己評価や児童・生徒の評価、保護者アンケート等の学校評価を行いました。

2 教職員の資質向上事業

教職員自らがその職責を深く自覚し、自己啓発に努め、市民の期待と信頼に応えられる教育実践を行うよう次のような研修を体系的、計画的に実施しました。また、研修形式は、段階的にアクティブ・ラーニング型研修へと移行しています。

①経験に応じた研修

- *初任者研修 9名参加：授業研究1人につき教科・領域で2回、市文化財・接遇研修1回
- *若手教員（4年次）研修会 1名参加：授業研究1人につき1回
- *臨時的任用教員研修 11名参加：県主催の全体研修1回、授業研究会1人につき2回、夏季研修会（机上研修）1回
- *5年経験者研修 4名参加：所属校研修3日間、異校種研修（机上研修）、センター等研修5日間
- *中堅教諭等資質向上研修 8名参加：教育センター等での研修11日間、共通研修2日間、教科指導研修6日間、生徒指導研修2日間

②教科領域等に関する研修

＊算数・数学学力向上推進委員会、国語学力向上推進委員会、英語・小学校外国語指導者研修会、社会科副読本編集委員会、体力向上推進委員会、巡回相談、教育相談員連絡協議会等

③教育課題、学校経営に関する研修

＊校長研究協議会、教頭研究協議会

＊中堅職員育成講座 6名参加：喫緊の教育課題と事例研究、魅力ある学年・学級経営や基礎的な教育法規について学び、教員としての資質向上を図りました（課題レポートの提出）。

＊各教科・領域教育研究会による授業研究協議会等により、教職員の実践力の向上が図られました。

④教育委員会による各種訪問事業

＊教育長訪問、教育支援担当訪問、学校管理訪問、校内研修指導訪問を計画的に実施し、学校の教育課題の解決を図りました。

3 コミュニティ・スクール事業

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図るコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について、平野小学校と平野中学校をモデル校に指定しました。学校運営協議会委員には昨年度委嘱した7名の方が2年目の委員として、学校と地域が一体となって子供たちを育むための方向性等について、令和5年度は8月と1月に協議会を開催しました。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となった魅力的で特色がある学校づくりを進めていきます。

課 題 と 今 後 の 方 針

今後も、学校評議員による学校評価等の取組、学校応援団組織の定着と充実を図り、家庭・地域とのつながりを密にし、心豊かに主体的に行動できる児童・生徒を育成する教育活動を推進します。

コミュニティ・スクールについては、モデル校での実施状況を踏まえ、今後も「地域とともにある学校」づくりを一層推進していきます。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

達成度

4年度

A

5年度

A

新型コロナウイルス感染症対策のための活動制限がなくなり、様々な活動の実施形態について、再検討を行った結果、より学校と地域の繋がりを深める事業を多く実施できたのではないかと感じます。

コミュニティ・スクール事業については、保護者を含む地域住民と情報共有し、足並みを揃えて進めていく必要があります。現在、モデル校となっている平野小学校と平野中学校について、共通の目標を持って、引き続き学校と地域が協働して事業を推進していくことを期待しています。

政策名	交通安全対策の充実
第5次総合振興計画における政策の位置付け	Ⅱ 健康で安心して暮らせるまちをつくる
	9 交通安全対策の推進
	(1) 交通安全対策の充実
政策の概要	登下校時の児童・生徒の安全を確保するために、地域の見守り組織や小・中学校間の連携強化を図る。

主 要 事 業 名	決 算 額	担 当 課
1 通学路の安全確保事業	50 千円	学校教育課

令和5年度の取組と成果	達成度	4年度	5年度
		A	A
1 通学路の安全確保事業 市内全小学校にスクールガード・リーダーを配置し、児童・生徒の安全確保を図りました。スクールガード・リーダーに関しては、県施策である「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」により小学校区毎に各1名委嘱されています。 また、市内全小・中学校で、保護者・学校応援団・防犯推進員の方々の協力をいただき、地域全体で学校安全に取り組む体制を構築し、防犯パトロールなどを行っています。 このほか、市民への安心安全な下校への協力を啓発するため、防災行政無線を用いた、児童の声による防犯啓発放送を継続して行いました。 児童・生徒に対する安全教育、防犯教育の取組も実施しました。埼玉県警非行防止指導班「あおぞら」等による薬物乱用防止教室・非行防止教室等の実施のほか、交通安全教室、防犯教室、地震や火災を想定した避難訓練等を実施し、危機回避能力の向上を図るとともに、安全に対する意識を高めています。  スクールガード・リーダーの様子 関係課や警察などと連携し、通学路合同点検を実施しました。関係者と共に、危険個所として挙げられた現地を確認し、対応内容や対応責任者などを共有しました。			

課 題 と 今 後 の 方 針
不審者から児童・生徒を守るため、地域や家庭と連携した協力体制の構築を図り、交通事故防止に向けた地域・家庭・警察との更なる連携強化のほか、地震等による被害防止のため、PTAと連携した通学路の安全確保を行ってまいります。このほか、保護者に地域で起きた出来事の把握をしていただくため、メール配信システムや学校のホームページで情報を発信していますが、ホームページによる情報発信は学校によって差があるため、取組の拡大を図ります。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）	達成度	4 年 度	5 年 度
		B	C
交通安全対策に関して、草木が繁茂するなど通学路の死角となる場所の把握や、防犯教育に対する意識の向上のため、市・学校・地域・家庭の連携がとても重要になってきます。年々、学童保育を利用する子どもが増えていることで、集団下校が成立しなくなるという現状も見られることから、地域からのより一層の協力を得ながら、子どもの安全を守るための柔軟な取組に期待します。 また、子ども 110 番の家など、いざというときに子ども自身が助けを求められるような仕組みを子どもたちに知ってもらうため、さらなる周知をお願いします。			

政策名	生涯学習体制の充実・学習環境の充実
第5次総合振興計画における政策の位置付け	Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる
	1 生涯学習を通じた生きる力の育成
	(1) 生涯学習体制の充実 (2) 学習環境の充実
政策の概要	社会構造の変化に伴い、多様化する市民の学習要求に対応し、市民一人ひとりが心豊かな充実した生活を実現するため、市民の自発的学習活動への援助と社会教育施設の整備を図るとともに、体系的、継続的な社会教育行政を推進し、生涯学習の普及・啓発に努める。

主 要 事 業 名		決 算 額	担 当 課
1	生涯学習推進事業	830 千円	社会教育課
2	図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業	12,553 千円	社会教育課 (図書館)
3	図書館機能・サービスの充実	36,755 千円	社会教育課 (図書館)

令和5年度の取組と成果		達成度	4年度 A	5年度 A
1 生涯学習推進事業				
生涯学習の機会の提供と、生涯学習に関する各種情報の発信、各社会教育関係団体の支援を行い、市内の生涯学習活動の活性化に努めています。 成人式 二十歳を祝う会については、コロナ禍では複数回に分けて式典を開催していましたが、令和5年度は1回で開催しました。対象者が579名に対して事前申込者が422名、当日来場されたかたが426名でした。また20歳対象者のご家族は事前申込みが285名、当日来場者が170名でした。 多彩な知識・技能を活かして地域で活躍することを望む生涯学習支援者を登録している人材バンク制度のPRを行うため、1日講座を実施しています。令和5年度についても、開催時期や会場を分散し年度を通じて実施することで、より多くのかたに参加いただける形で実施しました。 情報誌の作成では、年1回発行の「生涯学習団体情報誌」において、生涯学習活動を行っているグループやサークル(115団体)の情報を掲載しました。「生涯学習イベントガイドブック」では、市内で開催される講座やイベントなど、学習機会の情報を掲載しています。令和5年度は9月に10月～3月の行事(190件)を掲載した下半期版と3月に翌年度4月～9月の行事(123件)を掲載した上半期版を発行しました。 社会教育関係団体に対して補助金の交付を行っています。補助額に不用額が生じた団体については、年度末の実績報告の際に不用額の返還処理を行っています。				
2 図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業				
令和5年度で図書館情報システムの契約が満了になるため、次期図書館情報システムの契約を行いました。 また、2月23日から3月7日にかけて特別整理期間を設けて、図書館システムの端末機器等の交換工事を行いました。 小学校団体貸出巡回サービス事業として、令和5年度から2年を単位として全小学校を9回巡回し、1回で100冊ずつ、合計900冊の本を貸出することとしました。 貸出期間を長くして、児童にゆっくり読んでいただけるように貸出を行っています。				

3 図書館機能・サービスの充実

作家の追悼企画、芥川賞・直木賞の展示、本屋大賞候補者の展示など、随時企画展示の入れ替えを行いました。

図書館の平日の開館時間を10月1日から延長し、より利用しやすくなりました。

劣化により破損していました図書館事務室の防火扉設置工事を行い、利用者の安全確保に努めました。

課 題 と 今 後 の 方 針

1 生涯学習推進事業

成人式 二十歳を祝う会については、昨年度に引き続き、1回開催を予定しています。

1日講座については、今年度も開催時期や会場を分散し年度を通じての実施を予定しています。

社会教育関係団体への補助金交付については、年度途中に事業執行計画の確認を行うことで、不用額が生じた際は速やかに処理ができるよう努めていきます。

2 図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業

1小学校につき100冊の図書を2か月に1度巡回し、学校と密に連携を取ることで、子どもの読書活動支援と読書環境の充実を図っていきます。

引き続き、図書館情報システムを活用しサービスの向上を目指していきます。

3 図書館機能・サービスの充実

引き続き、適切な施設管理を行いながら安全で快適な環境の整備に努めます。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

達成度

4年度

A

5年度

A

「成人式 二十歳を祝う会」については、コロナ禍での感染症対策による複数回の開催から、1回開催にしたことで、より盛大な式典となり、多くの方に来場していただいたことは地域の活性化にも繋がっていると思います。

図書館については、引き続き、利用者に寄り添った環境整備を進め、きめ細やかなサービスの提供に努めるようお願いします。

政策名	芸術・文化活動の振興
第5次総合振興計画における政策の位置付け	Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる 2 地域に根差した文化の継承と活用 (1) 芸術・文化活動の振興
政策の概要	市民の自発的な芸術・文化活動の情報発信拠点として、また、催事や企画等の招致を図り、多くの市民が優れた芸術文化に接する場として活用できるようにするために、文化拠点施設の整備を推進する。

主 要 事 業 名	決 算 額	担 当 課
1 総合文化会館運営事業	32,874 千円	文化スポーツ課

令和５年度の取組と成果		達成度	4年度	5年度
			A	A
1 総合文化会館運営事業 重点				
ハストピアの自主事業として、ピアノコンサート、東京混声合唱団公演をはじめ、親子で楽しめる子ども向けの公演や久しぶりに市民音楽劇の公演も開催しました。昨年度に引き続き、ハストピアサポーターズの企画運営によるハストピアフェスティバルの開催やストリートピアノについても継続的に実施しました。 自主事業をはじめ、発表会、定期演奏会、講演会など、また、市内中学校の合唱コンクール、吹奏楽部演奏会、市内文化団体による文化祭や音楽祭など、市民の皆様をはじめ延べ63,500人の方にご利用をいただきました。				
総合文化会館利用状況		令和５年度		
どきどきホール		28,293 名		
楽屋		2,383 名		
スタジオ1		8,212 名		
スタジオ2		1,349 名		
スタジオ3		1,476 名		
ギャラリー		5,723 名		
多目的ルーム		13,256 名		
和室		1,244 名		
創作ルーム		1,564 名		
合計		63,500 名		

課 題 と 今 後 の 方 針
自主事業の企画については、様々なジャンルの事業ができるように、運営協議会やハストピアサポーターズと連携しながら、検討をしていきます。 引き続き、平日のホール利用の促進や、ホール以外の施設と屋外との一体利用など、利用の拡大につながるような利用方法の検討をしていきます。 市民の文化芸術への関心や参加意欲を高めるような市民参加型の事業を実施できるように、研究していきます。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）	達成度	4 年 度	5 年 度
		A	A
新型コロナウイルス感染症対策により制限されていた様々なイベントがより開放的に実施されたことで、来場者数の増加に繋がり、地域の活性化にも繋がったと感じます。自主事業以外に開催されるイベントも含めて、市民の方々から蓮田市の文化発信の拠点として親しまれています。今後も市民の芸術・文化への関心が高まるような新たな企画・運営を期待します。			

政策名	歴史・文化の保全と活用
第5次総合振興計画における政策の位置付け	Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる 2 地域に根差した文化の継承と活用 (2) 歴史・文化の保全と活用
政策の概要	地域における伝統文化の発展的継承と伝統文化を通じた市民への生涯学習活動の活性化を図る。また、文化財の保護と管理を目的に郷土資料の調査・収集を図り、市民の歴史・文化への醸成を進める。

主 要 事 業 名		決 算 額	担 当 課
1	文化財啓発事業	10,516 千円	社会教育課
2	文化財展示施設運営事業	9,338 千円	
3	国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業	129,766 千円	
4	埋蔵文化財保存事業	13,565 千円	

令和5年度の取組と成果	達成度	4年度	5年度
		A	A

文化財啓発事業

市内小学校（黒浜小学校、黒浜南小学校、黒浜北小学校、蓮田南小学校、蓮田中央小、平野小）を対象に「学校歴史講座」を開催しました。市民ボランティア学芸員による案内・解説のもと文化財展示館と黒浜貝塚の見学を行いました。

市内の文化財を広く啓発する事業として、蓮田市文化財情報サイトにて市内の文化財情報を更新しました。



学校歴史講座

2 文化財展示施設運営事

文化財展示館では常設展示のほかに、収蔵資料を活用した企画展示を併せて行っています。昨年度から継続して企画展「学校と蓮田」を、10月からは史跡黒浜貝塚の史跡整備事業完了に伴い企画展として「縄文海進と黒浜貝塚群」を開催しました。

なお、文化財展示館の年間入館者数は、10,185人を数えました。

「市民ボランティア学芸員養成講座」では、中央公民館で開催される市民大学と連携し7月～2月の計9回開講しました。歴史・文化の啓発とともに、団体見学や学校歴史講座の案内を行う人材の育成を図りました。また、史跡黒浜貝塚の全面供用開始にむけて、団体見学等に対するガイドを充実させるため、ボランティア学芸員に団体見学や学校歴史講座など、見学の解説や補助にご協力いただきました。

3 国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業 **重点**

黒浜貝塚は、平成18年に国指定記念物（史跡）に指定、平成25年に追加指定されており、縄文時代に人々が生活していた古代の景観を呈しています。ハンノキ群落を代表とする落葉広葉樹混交林等の豊かな自然環境を生かした、史跡としての本格整備を平成27年度から令和4年度まで実施しました。

当年度より全面供用を開始し、令和5年4月30日に整備工事完了記念式典を実施しました。
未公有地3筆分については不動産鑑定、物件調査を実施し、用地の買取りを行いました。この買取りにより、公有化率が100%となりました。

4 埋蔵文化財保存事業

埋蔵文化財保存事業では、市内の様々な開発にあたり、埋蔵文化財包蔵地に該当する地域について、試掘調査を34ヶ所実施しました。報告書刊行作業では、文化財調査報告書第71集（正御地遺跡・高都原遺跡詳細確認調査）を刊行しました。

課 題 と 今 後 の 方 針

国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業については、「国指定史跡黒浜貝塚 - 整備基本構想・基本計画策定報告書-」で策定された基本理念と基本方針に基づいて、啓発・活用を推進していきます。

埋蔵文化財保存事業では、市内の様々な開発にあたり埋蔵文化財包蔵地に該当する地域について、試掘調査・工事立会を実施して保護に努めます。

文化財展示施設運営事業では、黒浜貝塚の学術調査報告書の成果を基にした展示を企画するなど、史跡の価値を周知するよう努めます。また、市内文化財についても引き続き市民ボランティア学芸員との協働により展示館運営を充実させるとともに、図書館等と連携した講座を開講するなど、様々な場面で周知・啓発に努めてまいります。

今後、黒浜貝塚を含めた市内文化財の保護と活用を図り、未来に向け文化財を継承していくための指針として、「黒浜貝塚保存活用計画」及び「文化財保存活用地域計画」を策定するため、準備を進めていきます。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

達成度

4年度

A

5年度

A

史跡黒浜貝塚の整備工事が完了し、全面供用開始となったことで、市内外へ周知する機会が増えていると感じます。同時に、年々、文化財展示館の入館者数が増加していることから、市民をはじめ多くの方々の歴史・文化への関心に繋がり、生涯学習活動の活性化にも繋がっていることが感じられます。今後も、積極的な情報発信に期待します。

政策名	スポーツ・レクリエーション活動の促進、スポーツ施設整備の促進
第5次総合振興計画における政策の位置付け	Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる
	4 スポーツ・レクリエーションの振興
	(1) スポーツ・レクリエーション活動の促進 (2) スポーツ施設整備の促進
政策の概要	市民があらゆる機会を通じて、スポーツ・レクリエーション活動に参加できるように、生涯スポーツを目指したスポーツ環境整備を推進する。

主 要 事 業 名		決 算 額	担 当 課
1	スポーツ団体育成・支援事業	2,440 千円	文化スポーツ課
2	スポーツ・レクリエーション普及事業	3,390 千円	
3	スポーツ施設整備事業	32,062 千円	

令和5年度の取組と成果	達成度	4年度	5年度
		B	A
1 スポーツ団体育成・支援事業			
スポーツ協会、スポーツ少年団及びレクリエーション協会の3団体は、本市のスポーツ・レクリエーション事業で中心的な役割を担っており、その活動支援の一環として補助金を交付しました。 毎年、各団体は、はすだスポーツフェスタや蓮田マラソン大会などのスポーツ関係行事に協力し、行政と団体が一体となって、スポーツ・レクリエーション活動を推進しています。 スポーツ少年団においては体力テスト会や指導者講習会などを実施、レクリエーション協会ではレクリエーション大会を実施しました。 また、全国大会出場者に対する奨励金については、16名の方に交付しました。			
2 スポーツ・レクリエーション普及事業			
昨年度まで新型コロナウイルス感染症拡大予防のためスポーツフェスタを中止していましたが、令和5年度は「やさしいいきいきフェスティバル」「はすぴいお誕生会」と合同で実施いたしました。またバレーボールとバスケットボールの観戦事業を開催し、約2,400人来場いただきました。コロナ禍において多くの市民がスポーツに触れる機会を作ることができました。			
3 スポーツ施設整備事業 重点			
総合市民体育館パルシーは、大規模改修及びサブアリーナ増築工事の設計委託を令和4～5年度の2か年で契約し、令和5年度には実施設計が完了しました。 また、令和6年3月蓮田市議会定例会において、建築予算を計上した令和6年度一般会計予算を可決いただきました。			

市民体育館利用状況	令和5年度	令和4年度	令和3年度
アリーナ	57,852名	49,231名	7,593名
武道場	21,882名	17,476名	3,686名
多目的室兼控室	5,979名	5,695名	1,386名
第1会議室	1,043名	844名	112名
第2会議室	2,143名	1,996名	352名
施設開放	285名	201名	78名
トレーニングルーム	17,907名	13,422名	6,761名
合計	107,091名	88,865名	19,968名

課 題 と 今 後 の 方 針

スポーツ団体育成・支援事業については、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会の活動や研修などに引き続き支援を行います。

スポーツ・レクリエーション普及事業では、令和6年度からパルシーの改修工事とサブアリーナの建築工事が始まり、パルシーを利用したスポーツイベントができなくなるため、工事期間中はパルシーを利用しなくてもできるスポーツイベントを検討します。

スポーツ教室や講座については、スポーツ推進委員を主としたスポーツ教室を実施します。

スポーツ施設については、市民が主体的なスポーツ・レクリエーション活動を実施できるよう、引き続き環境の整備に努めます。また、総合市民体育館については大規模改修及びサブアリーナ増築工事を進めます。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

達成度

4年度

B

5年度

A

新型コロナウイルス感染症対策のための制限期間を経て、スポーツフェスタ、やさしいいきフェスティバル、はすぴいお誕生会を合同開催するなど、地域活性化に向けた取組が実施されています。中でも、バレーボールとバスケットボールの観戦事業には多くの方々に来場いただき、市民のスポーツへの関心の高さが感じられました。今後、市民がさらに多くのスポーツに触れることができるよう努めてほしいと思います。

また、スポーツ施設整備として、総合市民体育館の大規模改修及びサブアリーナ増築工事が予定されています。工事中も市民がスポーツ活動を行う機会が得られるよう、様々な企画が実施されることを期待します。

政策名	人 権 意 識 の 高 揚
第5次総合振興計画における政策の位置付け	Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる
	5 人権教育・啓発の推進
	(1) 人権意識の高揚
政策の概要	人権尊重社会を実現するために、あらゆる機会をとらえて人権に関する教育及び啓発を推進する。

主 要 事 業 名		決 算 額	担 当 課
1	人権教育・啓発推進事業	1,212 千円	社会教育課

令 和 5 年 度 の 取 組 と 成 果		達成度	4 年度	5 年度
1 人権教育・啓発推進事業			A	A
例年、様々な人権問題の解決を目指すことができる明るい地域社会をつくるため、各種研修会等を実施しています。令和5年度につきましては事業をすべて実施しました。 また、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の趣旨に基づく人権教育の取組として、埼葛郡市12市町との連携による協働事業を含め、各種啓発活動を実施しました。 このほか、人権啓発活動として、各行事等での人権啓発用品の配布や、市内小学校児童を対象に啓発品を配布するなど、市民の人権意識高揚を図りました。				
主な人権教育研修の参加状況		令和5年度	令和4年度	令和3年度
公民館利用者人権研修会		30 名	57 名	
埼葛地区人権教育推進協議会総会・研修会		9 名		
蓮田市人権教育推進協議会総会・研修会		71 名	86 名	
埼葛郡市教職員合同現地研修会		14 名	18 名	18 名
蓮田市教職員人権教育研修会		253 名	261 名	233 名
埼葛人権を考えるつどい		50 名	50 名	50 名
埼葛地区人権教育指導者研修会		13 名	12 名	
蓮田市職員人権・同和問題研修会		153 名	155 名	137 名
人権問題講演会（R3 はオンライン）		45 名	47 名	50 名
寿大学人権問題研修会		42 名		

課 題 と 今 後 の 方 針
人権尊重社会実現のために人権意識の定着・向上には、機会を捉えた教育・啓発活動が必要です。 引き続き、近隣市町と連携しつつ、「蓮田市人権施策実施計画」に基づく人権施策、及び広報活動・啓発活動を推進することにより、多くの市民が人権について考える機会を持てるよう努めてまいります。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）	達成度	4 年 度	5 年 度
		A	B
人権問題や人権教育について考える機会として、市職員や教職員を対象とした研修会が非常に充実していると感じます。様々な世代のより多くの方々に参加いただけるよう希望します。また、今後は、子育て世代への人権意識の高揚につながる機会を増やしていくことも必要と考えます。例えばプレックスキッズを活用するなど、工夫しながら啓発に努めていただくことを望みます。			

政策名	放 射 線 対 策 の 推 進
第5次総合振興計画における政策の位置付け	V 潤いのある快適なまちをつくる
	3 安心・安全な生活環境
	(2) 放射線対策の推進
政策の概要	身近な環境等の放射線量の測定など、放射線対策を継続する。また、給食用食材の放射性物質検査を定期的実施する。

主 要 事 業 名		決 算 額	担 当 課
1	放射線測定事業	162 千円	学校教育課
2	給食用食材の放射性物質検査事業	313 千円	教育総務課

令 和 5 年 度 の 取 組 と 成 果		達成度	4 年度	5 年度
			A	A
1 放射線測定事業 福島県の原子力発電所事故による影響を把握するために、市内小中学校を5つのグループ（中学校区）に分けて、令和5年4月1日より測定方法を変更し、毎月1回、放射線測定を実施しています。また、子どもたちが健康で、安心して学校生活が送れるように定期的にホットスポットと呼ばれる放射線が溜まりやすい場所を調査しました。市民の安心・安全にも寄与することを目的として、平成23年度より実施してきました計数器による定時・定位置での測定を継続（地上5cmと1mの地点で2回測定、午前10時前後の時点）し、測定結果の報告と共有（計測データは集計後、速やかに市内小中学校で共有し、各学校で掲示する）を実施しました。定時・定位置での測定では大きな数値の変化はありませんでした。また、学校プールでの水泳指導実施校で2回、プール水の放射性物質の検査を行いました。異常は見られませんでした。				
2 給食用食材の放射性物質検査事業 東日本大震災の原子力発電所事故による放射能汚染のため、食品の放射性物質についての安全性に関して多くの人が強い不安を感じるようになりました。その後、出荷・流通段階での検査体制の整備により、市場に流通している食品は安全性に十分留意されていると考えております。 これまでの検査においても基準値以上の放射性物質は検出されていませんが、さらなる安心・安全な給食提供のために、引き続き定期的な放射性物質検査を実施しました。外部委託検査にて、高精度なゲルマニウム半導体検出器により、月2回、2検体ずつ検査し、すべての食材について放射性物質は「検出せず」という結果でした。 検査結果については市のホームページにて随時公表いたしました。				

課 題 と 今 後 の 方 針
引き続き、計数器による定時・定位置での測定を継続し、迅速かつ正確な測定結果の公開を行います。 学校給食の安心・安全な運営のため、給食用食材に対する放射能検査を継続的に実施してまいります。

教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）	達成度	4 年 度	5 年 度
		A	A
学校敷地内及び給食用食材の放射線測定を定期的に行い、結果をホームページで随時公開したことで、子どもと保護者の安心感が高められています。今後も引き続き実施されるよう希望します。			

蓮田市教育行政執行状況に関する点検評価に対する意見

群馬大学共同教育学部 教授 霜田浩信

私は、蓮田市立小・中学校へ巡回相談という形態で学校へ訪問する機会を得ています。その訪問機会を通して知り得た児童生徒の実態、教職員の取組を踏まえて、今回の教育行政執行状況に関する点検評価報告書に対する意見を以下に述べます。

1. 地域の関係機関と連携した子育て支援

(1) 家庭教育支援事業

核家族やひとり親世帯、働く保護者の増加のなか、保護者の就労や生活スタイル、さらには子どもの年齢や発達に応じて、保護者が安心して子育てができるよう、さまざまな支援に取り組んでくださっていることが評価できます。特に、「学校を休みがちな子をもつ親のつどい」の継続開催、子どもの居場所としての「ほっとスペーススリあん」の新設は、子どもの居場所の提供のみならず、学校を休みがちな子をもつ親が、同じ悩み等を抱える保護者同士で知り合うことができる機会となります。子ども・保護者や家庭を孤立させずに地域や行政とのつながりを持つことになり大いに評価できます。引き続き、保護者のニーズを捉え、学校や保健・福祉関連の担当部署と連携を図りながら事業を進めていただくことを希望します。

2. 教育内容の充実

(1) 一人ひとりを大切にした教育の充実推進事業

委嘱研究に基づく教育内容や体制の検討においては、学習指導要領を受けて、各教科の実践研究に留まらず、学習の基盤となる問題発見・解決能力、思考・表現力などの資質・能力を伸ばす指導や社会の変化の中を生き抜くために人間に求められる能力の育成を高める実践を研究されていることが評価できます。「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（中教審、2011）では、その中心となる力を基礎的・汎用的能力とし、その具体として、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力が挙げられています。いずれも非認知能力と深く関連しており、このような現代的な教育課題を実践検討されていることが評価できます。委嘱先の学校による研究発表を受けて、蓮田市内の小中学校におかれては、ぜひとも研究の成果を自校の教育実践に活かし、各学校における教育の充実、教員の資質向上に役立てていただくことを希望します。

(2) 小・中学校人権教育推進事業

人権教育においては、まずは教職員が個々の人権課題（女性、子ども、障がい者、高齢者、同和問題、外国籍の人、性的マイノリティの人等々）に関する正しい知識を得るだけでなく、人間の多様性の尊重といった価値観を身につけたうえで、教職員が児童生徒と関わる際に人権を重んじた振る舞い、教育をしていくことが重要になります。児童生徒においてはその教職員の振る舞いを見ることを通して、そして周囲の人との関わりを通して、人権意識を学んでいくこととなります。今後も文部科学省が示す「人権教育の指導方法等の在り方について」の方針に基づきながら、学校における具体的な取組、支援体制を今後も推し進め、将来の社会を担う児童生徒における人権意識を育て、共生社会の形成に向けた礎を築くことを期待します。

(3) 特別支援教育推進事業

蓮田市における就学支援事業では、就学支援委員会委員に各小・中学校の校長、教員、校医、学識経験者、関係課職員がチームとなって、子どもの行動観察からはじまり、保護者との面談を含めて十分な連携を取った丁寧な就学先の協議が行われています。そのひとつの成果として、保護者や本人が安心して就学できていることが挙げられます。また、通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒への巡回相談を学識経験者、蓮田市発達支援相談室「すてっぷ」、通級指導教室等の教職員等との連携によって実施しています。また、特別支援学級担当者会議を開催し、市内の特別支援学級の担当者の指導力向上が図られています。特に令和5年度より中学校における通級指導教室が設置されたことによって、これまで小学校において通級指導を受けてきた児童が継続的に指導を受けることができたり、中学校段階で通級指導教室の利用が必要になった生徒に対する支援が実施できたりするようになりました。このように蓮田市における特別支援教育推進事業は大変充実したものと評価できます。文部科学省による調査、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果(令和4年)では通常学級に通う児童生徒の8.8%に、発達障害の可能性があると報告されました。2012年の前回調査から2.3ポイント増えています。通級指導教室の充実のみならず、通常学級での授業内における支援の充実を図ることが求められます。さらには、障害種に応じた特別支援学級の学級編制、そして、特別支援学校に通う児童生徒における居住地校での支援学習の推進を含めて、一貫した

支援等の仕組み作りを継続的、積極的に進めていただくことを期待いたします。

(4) 外国語指導助手招致事業

外国語指導助手（ALT）の有効的な活用にあたっては、学校派遣の充実のみならず、「ALT の指導力向上」と「教員－ALT とのチーム・ティーチングの質の向上」が重要になります。蓮田市においては、定期的に ALT ミーティングが行われ、市内各校での英語の授業についての情報交換に基づき、ALT の指導力向上やチーム・ティーチングの質の向上を図られていることが評価できます。また、ALT の活用によって、児童生徒におけるコミュニケーション能力の素地づくりに着実に効果を上げ、小学校児童の英語への興味関心を高め、中学校英語学習への円滑な接続が図られ、英語学習の基本的な知識習得に繋がったことは、ALT 活用の効果として評価できます。引き続き、英語教育の観点、国際理解教育の観点の両側面から ALT の指導力向上の役割を整理、検討していただけることを期待します。

(5) 小学校外国語活動推進事業

小学校における外国語教育では、中学年から「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を通じて外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機づけを高めた上で、高学年から「読むこと」「書くこと」を加えて総合的・系統的に扱う教科学習を行うとともに、中学校への接続を図ることが求められています。蓮田市において「書くこと」の活動も取り入れ、中学校における英語教育への円滑な接続を図っていることが評価できます。中学校においては小学校時代に「読むこと」「書くこと」が既習として扱って授業が実践されることになろうかと思います。今後も中学校に進学した生徒が中学校における英語科の学習（特に「リーディング」「ライティング」）にスムーズに移行できるよう、指導内容における連続性、小中の教員間の連携を図っていくことを期待します。

(6) 中学生国際親善訪問団事業

国際的視野や国際感覚を持った「人財」の育成、外国の歴史・文化の理解、蓮田市の次代を担うリーダーの育成等を目的とする重要な事業と捉えられます。新型コロナウイルス感染拡大を契機に、事業の実施方法の検討が求められています。これまでの親善訪問実施のノウハウを活用し、今後の事業実施方法を検討されることを期待します。

(7) 学力向上推進事業

生涯学び続けるために必要な資質・能力を子どもたちに身に付けさせるためにも、児童生徒における学力向上のための基盤づくりが求められます。個に応じたきめ細かな指導の充実を図るため、小学校低学年への非常勤講師の配置、30 人学級や少人数指導など、各学校や児童生徒の実態に応じて、学力向上の推進に向けて取組（習熟度別学習、少人数指導、チーム・ティーチングといった、個々の課題に応じた補充学習のほか、1 人 1 台タブレット PC を活用した課題学習、家庭学習における家庭との連携等）がなされていることが評価されます。それらが要因の一部となって、令和 5 年度の埼玉県学力・学習状況調査における結果は、全学年、全教科において県の平均正答率を上回ったことは評価できます。学力向上にあたっては、知識伝授に留まらず、「主体的・対話的で深い学び」による授業作り・授業改善を推し進めることも重要であり、そのなかで、育成すべき資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育むことが実現できるようさらなる検討を期待します。また、各学校の実態に合わせ、学力・学習状況調査の結果も含めて、「学習を支える環境の整備」「児童生徒の発達の段階に即した取組」「効果的な補充学習・家庭学習の実施」「読解力などの言語能力等育成のための取組」等を検討されることも期待します。

(8) 市費による非常勤講師等配置事業

市費による非常勤講師等の配置を学校や児童生徒のニーズに応じて配置されたことは、財源確保が難しい昨今の状況、また臨時的任用教員等の確保ができず学校へ配置する教師の数に欠員が生じる「教師不足」が顕著になりつつある状況を考えると大きく評価できることです。非常勤講師等が派遣されることによって、児童生徒、学級、学校が学習や生活においてきめ細かな指導やニーズに応じた指導、生活安全が図られた学級・学校運営につながるものと評価することができます。今後とも財源確保に努めていただき、市費による非常勤講師等の配置事業を進めるとともに、退職教員等をより活用できる体制を整えていくことを望みます。

(9) 新学習指導要領への対応

蓮田市において、新学習指導要領を実施するにあたって「教育課程検討委員会」を組織したうえで、キャリア教育推進への対応や教育内容の検討を実施されたことは、児童生徒が未来社会を切り拓（ひら）くための資質・能力を育成することを具体的に検討したこととして評価できます。

中央教育審議会は『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（令和 3 年 1 月 26 日）を示しました。今後の教育課程の在り方について、「学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり、そのためには新たに学校における基盤的なツールとなる ICT も最大限活用しながら、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成

する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められる」と述べています。今後「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、学習指導要領の着実な実施を具体的に検討くださることを期待いたします。

3. 教育環境の充実

(1)小・中学校大規模改修事業

今後の大規模改修を実施するにあたって、児童生徒・教職員にとって安全で快適な学校施設を整備するとともに、学校施設の長寿命化を推進するため、既存の建物のライフサイクルを意識した①既存学校施設再生整備、②安全で快適な教育環境整備、③長寿命化のための予防対策、を踏まえた改修・修繕をされていることを評価します。児童生徒等の学習及び生活の場として、教職員の働く場として、日照、採光、通風等に配慮した良好な環境を確保するとともに、教育内容や教育方法への対応、障がいのある児童生徒への配慮を考慮した整備が求められます。さらには十分な防災性、防犯性、災害時における避難所など安全性を備えた安心感のある施設環境を計画的に形成することを期待いたします。

(2)小・中学校校庭整備事業

小中学校の校庭の一部を芝生化する取組は、児童生徒における緑の維持管理への意識へともつながるものと評価できます。児童生徒の手による芝生手入れ等の取組を期待します。

(3)GIGAスクール構想

GIGA スクール構想のなかでは、これまでの我が国の教育実践と最先端 ICT の利活用によるベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すことが求められています。そのためにも、蓮田市が目指す1人1台端末環境の利活用によるアクティブ・ラーニングの充実が求められます。各学校の ICT 推進リーダーによるオンライン会議の実施、Microsoft Teams を使ったオンライン会議（代表の児童・生徒）や授業参観や発表会等のライブ配信は、授業場面のみならず、学校教育全体を通じた ICT の活用として多いに評価できます。今後も、授業における一斉学習場面、個別学習場面、協働学習場面と場面ごとにおけるこれまでの教育実践の蓄積、学校教育全体で ICT の利活用がどのように展開可能か検討いただくことを期待いたします。また、数年後に必要となる端末や校内ネットワークの更新については、国や県の補助金状況を踏まえ計画的に検討されることを期待します。

(4)就学援助費の支給事業

保護者に対する就学援助制度の十分な周知を行うためには、就学時健康診断時や学校の入学前における説明会などで周知することが求められます。今後も国や県、近隣市町の最新動向を把握するとともに保護者に対する周知方法等を確立しながら、事業を進めていくことが望まれます。

4. 学校の教育力の向上

(1)開かれた学校づくり事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の活動等を中止せざるを得ない状況ではありますが、実施形態等を工夫して実施、公開をし、学校の教育活動への理解を深める機会を検討いただいたことを評価します。また、学校応援団を組織し、実施可能な活動を通して、児童生徒の登下校の安全指導をはじめ、環境整備、学習支援等に協力いただける体制を整えていただいたと評価できます。今後も地域との連携に基づきながら開かれた学校づくり事業を展開いただくことを期待します。

(2)教職員の資質向上事業

蓮田市においては、「経験に応じた研修」として、初任者研修のみならず若手教員研修会として4年次の教員に対する授業研究による研修会を実施し、さらには臨時的任用教員研修を定期的 to 実施しており、大いに評価できるところです。教員構成全体に占める初任者、若手教員の数は増加の一途であり、また校内におけるミドルリーダーの養成も求められるところであるため、今後もより一層の研修内容及び体制の充実・工夫が求められます。研修会がより主体的・協働的な学びの要素を含んだアクティブ・ラーニング型研修へ転換してきていることが評価できます。研修体制の整備に留まらず、教育内容の充実を目指して、退職教職員の再任用等をはじめ、学校支援に関わる関係者を広く結集した取組によって、学校の総合力の向上につながる事業の計画を継続的に実施されることを希望します。

(3)コミュニティ・スクール事業

新学習指導要領が目指すところでもある「社会に開かれた教育課程」の実現に向けては、未来の子ども達を含めた学校、地域について、保護者や地域住民との情報や課題を共有し、共通の目標やビジョンを設定し、その上での日々の教育活動を展開することが求められます。平野小学校と平野中学校をモデル校に指定し、協議

会を開催できたことは、まさに地域、社会に開かれた学校、教育課程を目指すものと評価できます。両校の校長先生が中心となりながら、地域でどのような子どもたちを育て、どのような地域をつくるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有してコミュニティ・スクール事業が展開されることを期待します。

5. 交通安全対策の充実

(1) 通学路の安全確保事業

通学路の安全確保においては、学校のみならず地域からの協力、連携は欠くことができません。そのためには、多くの方々に登下校を含めた児童生徒の生活に意識が向けられることが必要です。蓮田市では子どもの声による防災行政放送が実施されており、地域の方々が児童生徒の生活に意識を向けられるきっかけになっていると評価できます。児童・生徒に対する安全教育、防犯教育の取組は重要であり、さまざまな教室等の実施も評価できます。今後も児童生徒、教職員、保護者、地域住民の防犯意識、災害等に対する安全意識の向上が図られ、スクールガード・リーダーと教職員、保護者等が一体となって体制が整備されていく事業展開を期待します。

6. 生涯学習体制の充実・学習環境の充実

(1) 生涯学習推進事業

成人式 二十歳を祝う会については、コロナ禍では複数回に分けての式典実施でしたが、令和5年度は1回で開催され、多くの参加者があったことを嬉しく思います。生涯学習社会の構築が必要な理由としては、①社会の変化に応じた新しい知識・技能の習得が求められている点、②心の豊かさや生きがいのための学習需要が増え、ひいては地域社会の活性化・高齢者の社会参加・青少年の健全育成などにつながる点、③学歴だけでなく様々な「学習の成果」が適切に評価される社会を築いていく点が指摘されています。コロナ禍を契機に、開催形式の工夫などがなされ、市民の学習ニーズに応じた実施を検討されていることを評価します。また、生涯学習に関する各種情報の発信を行い、市民の学習活動の支援と生涯学習活動を行う団体の活性化に努められていることが評価されます。

(2) 図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業

小学校団体貸出巡回サービス事業として、巡回貸出の実施は、児童における図書に触れる機会を増やすのみならず、図書館利用のきっかけにもつながると考えられます。利用する児童が自分のペースで読めるよう貸出期間を長く設定されたことをも評価できます。図書館事業は生涯学習推進事業と連動した取組が期待されるため、今後も利用者及び市民のニーズや社会的要請を踏まえたうえでの運営の検討を期待いたします。

(3) 図書館機能・サービスの充実

展示のコーナーの充実、図書館の平日の開館時間の延長、劣化により破損していた図書館事務室の防火扉設置工事の実施など、利用者がより安全に利用しやすい図書館機能・サービスの提供に取り組んでくださっていることが評価できます。引き続きの機能・サービス向上の検討を期待します。

7. 芸術・文化活動の振興

自主事業をはじめ、発表会、定期演奏会、講演会など、さらには市内中学校の合唱コンクール、吹奏楽部演奏会、市内文化団体による文化祭や音楽祭などが開催され市民の芸術・文化活動の拠点となり得ていることを嬉しく思います。今後も市民の文化芸術活動及び地域活動の振興を図るため、市民とともに作り上げていく文化拠点としてのより一層の展開を期待します。

8. 歴史・文化の保全と活用

文化財啓発事業、文化財展示施設運営事業、国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業、埋蔵文化財保存事業等、いずれの事業においても、積極的に事業展開がされており、関係の方におけるご尽力に敬意を表します。今後も引き続きさまざまな事業を計画的に実施し、展示館運営の充実、国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業の展開、市民への啓発活動等の充実を期待します。

9. スポーツ・レクリエーション活動の促進、スポーツ施設整備の促進

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止していたスポーツフェスタを他事業と合同で再開できたことは、多くの市民がスポーツに触れる機会につながったと評価できます。令和6年度からのパルシーの改修工事とサブアリーナの建築工事期間中におけるスポーツイベントの検討を期待します。

10. 人権意識の高揚

コロナ禍において人権教育・啓発推進事業の多くが中止を余儀なくされた状況でしたが、令和5年度においては、コロナ禍前と同様に事業を実施されたことが評価されます。今後も、人権問題が『自分自身の課題』として市民が受け取れること」を視点にして、より広くの年代層や市民に研修会や講演会に参加してもらう事業を期待します。

11. 放射線対策の推進

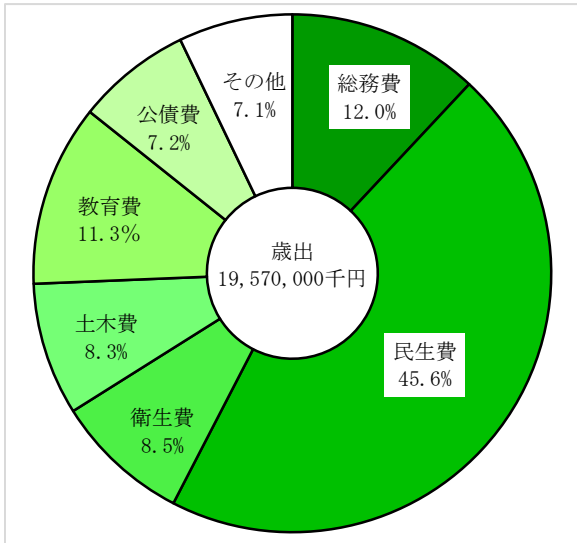
東日本大震災以来、市民が学校給食の食材に関して安心できるようにと継続的に放射性物質の検査を実施し、かつ検査結果を市民に公表していることが評価できます。学校給食は個人が選択できない食事であるため、食品の購入におけるリスク管理を継続されることを希望します。

資 料

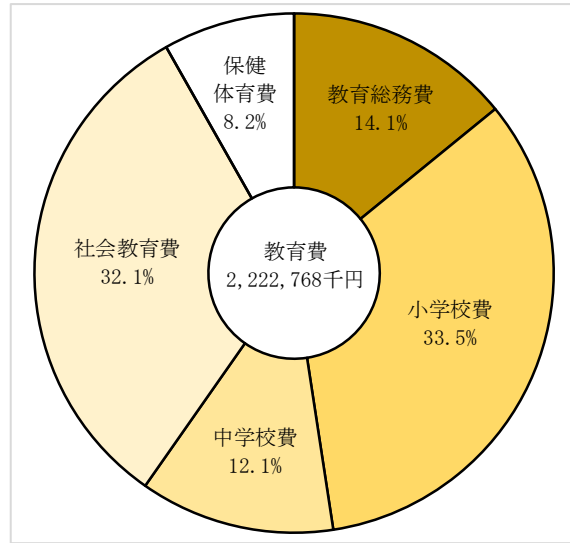
1	令和5年度当初教育費予算		38
2	令和6年度当初教育費予算		39
3	令和5年度教育費決算		40
4	進路状況		41
5	学校一覧表(児童・生徒数及び学級数)		42
6	児童・生徒数の推移		43
7	教育施設等の概要		44

1 令和5年度当初教育予算

一般会計予算



教育費



一般会計予算

(単位: 千円)

	予算額
総務費	2,342,697
民生費	8,929,385
衛生費	1,658,079
土木費	1,620,729
教育費	2,222,768
公債費	1,403,547
その他	1,392,795
合計	19,570,000

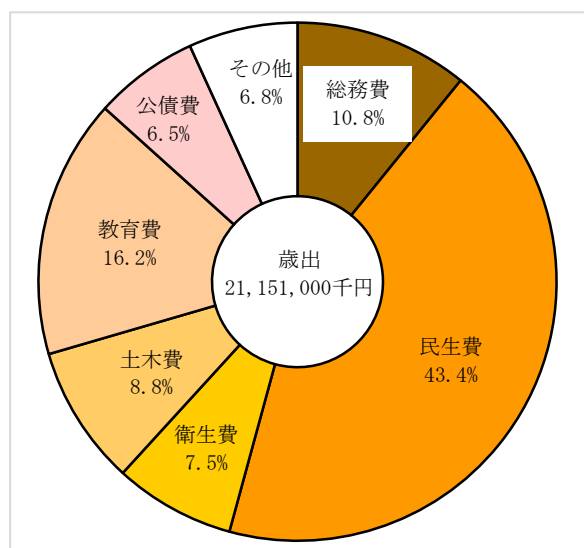
教育予算

(単位: 千円)

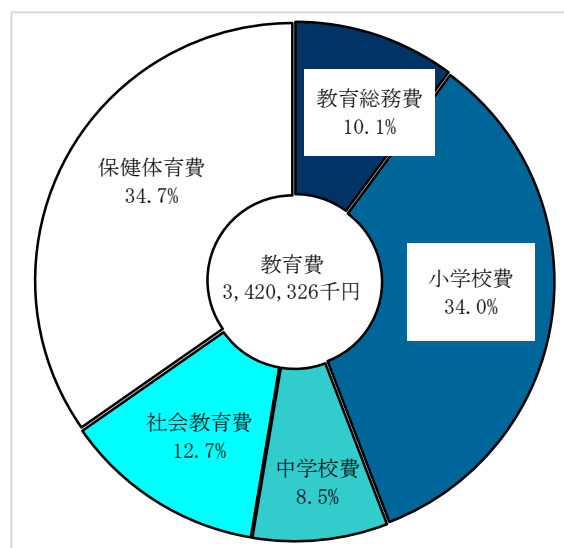
	予算額	備考
教育総務費	313,901	
小学校費	744,419	児童1人当たり 282千円
中学校費	269,890	生徒1人当たり 190千円
社会教育費	712,250	
保健体育費	182,308	
合計	2,222,768	市民1人当たり 36千円

2 令和6年度当初教育予算

一般会計予算



教育費



一般会計予算

(単位: 千円)

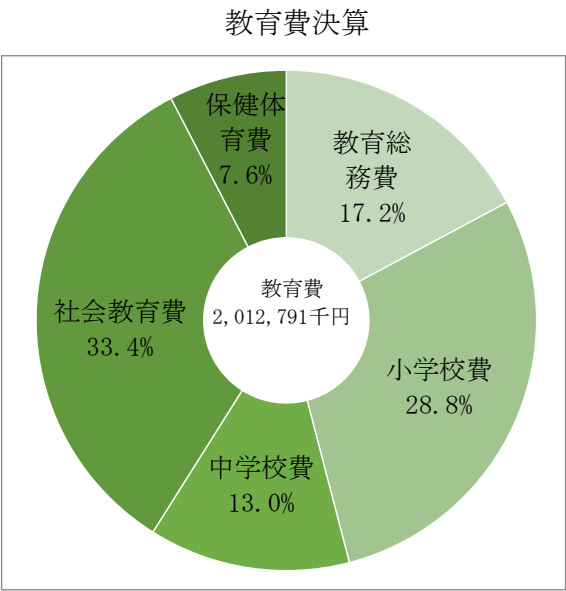
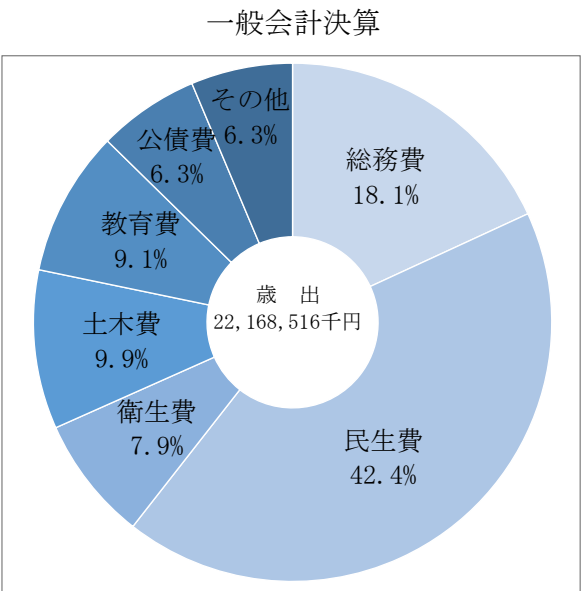
	予算額
総務費	2,293,674
民生費	9,178,237
衛生費	1,595,477
土木費	1,842,512
教育費	3,420,326
公債費	1,379,936
その他	1,440,838
合計	21,151,000

教育予算

(単位: 千円)

	予算額	備考
教育総務費	346,988	
小学校費	1,163,776	児童1人当たり 435千円
中学校費	289,790	生徒1人当たり 216千円
社会教育費	433,132	
保健体育費	1,186,640	
合計	3,420,326	市民1人当たり 56千円

3 令和5年度教育費決算



一般会計決算 (単位：千円)

	決算額
総 務 費	4,017,543
民 生 費	9,409,031
衛 生 費	1,722,455
土 木 費	2,199,413
教 育 費	2,012,791
公 債 費	1,400,382
そ の 他	1,406,901
合 計	22,168,516

教育費決算 (単位：千円)

	決算額	備 考
教育総務費	345,862	
小 学 校 費	578,872	児童1人当たり 220千円
中 学 校 費	261,830	生徒1人当たり 185千円
社会教育費	672,865	
保健体育費	153,362	
合 計	2,012,791	市民1人当たり 33千円

4 進路状況（令和5年度中学校卒業生）

○進路内訳

性 別 区 分		男	女	合 計	割 合
卒 業 者 総 数		人 273	人 233	人 506	% 100
内 訳	就 職 者 数	1	0	1	0.20
	進 学 者 数	271	231	502	99.21
	家 事 従 事 者 等	1	2	3	0.59
	各 種 学 校 等	0	0	0	0.00

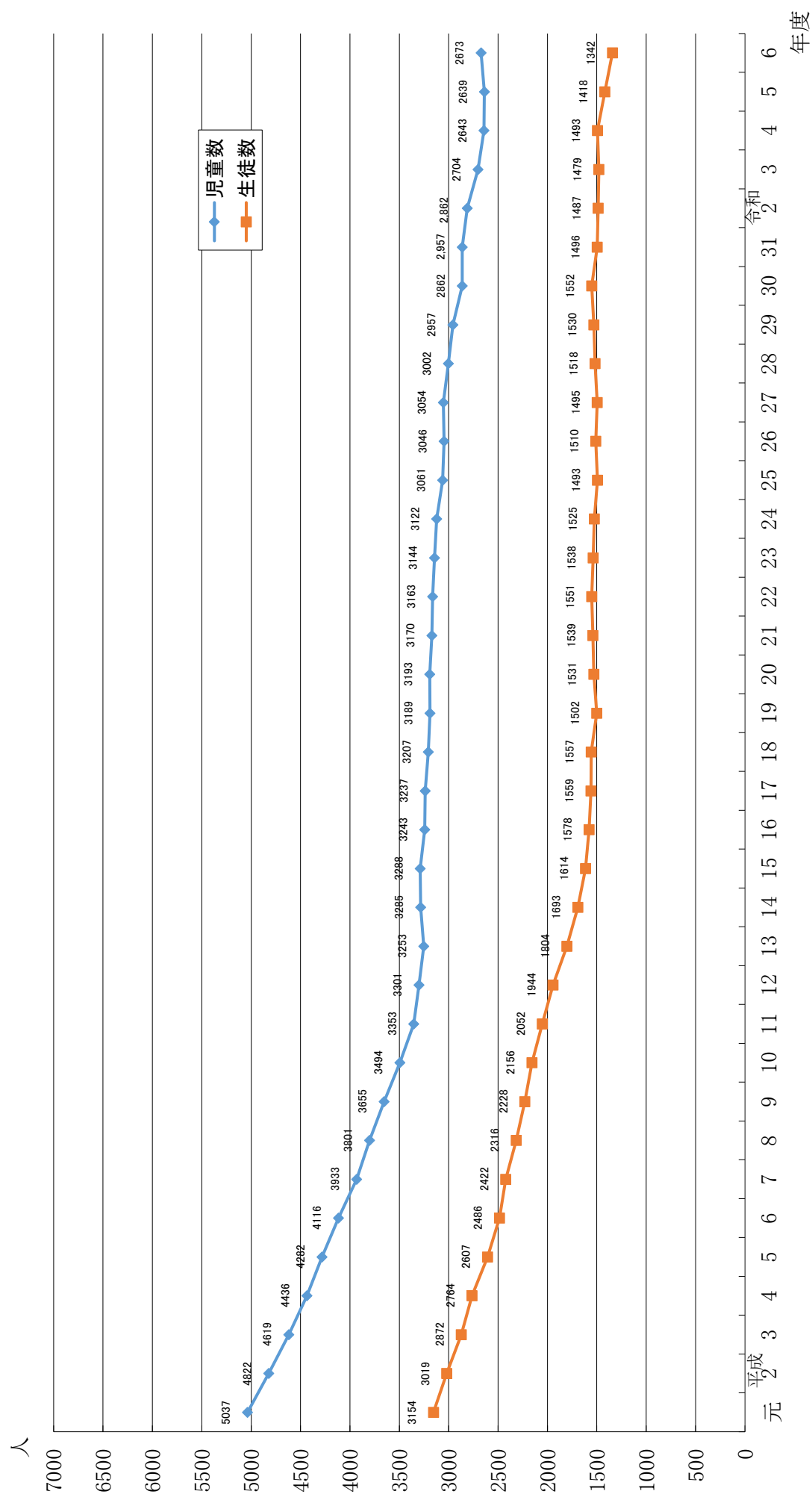
○進学先内訳

性 別 区 分		男	女	合 計	割 合
進 学 者 総 数		人 271	人 231	人 502	% 100
内 訳	県 内 国 公 立 校	172	139	311	61.95
	県 内 私 立 校	73	60	133	26.49
	県 外 国 公 立 校	2	0	2	0.40
	県 外 私 立 校	24	32	56	11.16

5 学校一覧表（児童・生徒数及び学級数／令和6.5.1現在）

学 校 名	所 在 地	校 長 名	教 頭 名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援		合 計	
				児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	学 級 数
蓮 田 南 小	東6 - 9 - 11	松 本 直 大	五 十 嵐 正	127	4	124	4	98	3	100	3	112	4	116	3	18	4	695	25
蓮 田 北 小	閩戸3236	杉 澤 肇	川 鍋 太 希	23	1	37	2	42	2	33	1	22	1	29	1	6	2	192	10
平 野 小	井沼937	佐 藤 智 恵	古 島 隆 宏	27	1	22	1	25	1	21	1	33	1	36	1	2	1	166	7
黒 浜 小	黒浜3069	飯 野 正 章	石 井 祐 二	54	2	44	2	53	2	47	2	56	2	56	2	11	2	321	14
蓮田中央小	閩山3 - 6 - 1	丸 山 典 雄	落 合 浩 之	89	3	85	3	93	3	84	3	85	3	105	3	9	2	550	20
黒 浜 西 小	西新宿3 - 84	黒 川 昇	小 嶋 隆 夫	38	2	34	1	38	2	31	1	55	2	40	2	8	2	244	12
黒 浜 南 小	黒浜722	中 田 泰 広	三 村 綾 子	41	2	51	2	39	2	39	2	44	2	61	2	9	2	284	14
黒 浜 北 小	南新宿800	嶺 由 美	熊 野 真 之	34	1	29	1	31	1	47	2	41	2	34	1	5	2	221	10
計				433	16	426	16	419	16	402	15	448	17	477	15	68	17	2,673	112
蓮 田 中	閩戸147 - 1	青 野 保	荒 井 康	123	4	122	4	131	4										
平 野 中	井沼932	松 島 直 樹	小久保 喜 弘	19	1	31	1	27	1										
黒 浜 中	黒浜4748	安 藤 義 仁	矢 野 天 洋	80	3	98	3	118	3										
蓮 田 南 中	蓮田1519	吉 里 達 哉	中 尾 信 太 郎	106	3	105	3	90	3										
黒 浜 西 中	黒浜3862	檜 田 光 東	井 野 裕 治	85	3	83	3	92	3										
計				413	14	439	14	458	14							32	10	1,342	52
合 計																		100	27
																		4,015	164

6 児童・生徒数の推移（各年度5 / 1 現在）



7 教育施設等の概要（令和6.5.1現在）

校 名	校地面積	運動場面積	校 舎 面 積				保有教室		体 育 館	プ ー ル	給 食 室
			鉄 筋	鉄 筋 その他	木 造	計	普通	特別			
蓮 田 南 小	15,269 m ²	5,330 m ²	4,871 m ²	74 m ²	0 m ²	4,945 m ²	23	15	978 m ²	25 m ・ 5 コース	207 m ²
蓮 田 北 小	16,515	6,286	3,820	100	5	3,925	10	16	727	25 m ・ 6 コース	236
平 野 小	12,924	4,720	3,725	185	19	3,929	7	15	677	25 m ・ 6 コース	205
黒 浜 小	18,960	6,170	4,206	86	27	4,319	16	12	779	25 m ・ 6 コース	182
蓮 田 中央小	20,000	10,016	4,158	39	0	4,197	21	11	726	25 m ・ 6 コース	300
黒 浜 西 小	20,564	10,426	4,491	91	0	4,582	13	16	737	25 m ・ 6 コース	271
黒 浜 南 小	20,564	9,760	4,496	166	0	4,662	16	13	789	25 m ・ 6 コース	283
黒 浜 北 小	20,437	7,744	4,117	99	0	4,216	12	17	785	25 m ・ 5 コース	258
										12 m ・ 3 コース	
蓮 田 中	25,738	13,395	4,420	539	0	4,959	14	17	1101	25 m ・ 6 コース	355
平 野 中	21,017	8,660	2,744	92	15	2,851	5	14	881	25 m ・ 6 コース	251
黒 浜 中	23,333	14,263	4,841	56	0	4,897	11	20	889	25 m ・ 6 コース	357
蓮 田 南 中	25,320	13,444	5,320	73	0	5,393	11	23	946	25 m ・ 6 コース	339
黒 浜 西 中	27,594	13,900	4,434	9	42	4,485	11	18	1,008	25 m ・ 6 コース	368

＊校地面積欄は借地を含む。校舎面積欄の鉄筋その他・木造は鉄筋換算面積。

